

# 平成26年度 保々中学校 学校アンケート結果と考察

内容	設問 ※ 設問に対する回答は、4（そう思う）、3（だいたいそう思う）、2（あまりそう思わない）、1（そう思わない）の4段階で評価	平均評価	4（そう思う）と3（だいたいそう思う）の評価の割合				考 察 (表中の「平成25年度本市平均」とは、平成25年度全国学力・学習状況調査の四日市市の中3の平均値)	
			1年生	2年生	3年生	全体		
確かな学力	生徒	学校の授業はわかりやすい。	3.0	77.9%	77.1%	93.8%	83.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒質問「学校の授業はわかりやすい」の平成25年度本市平均(国数)が76%であったことに対して、今年度の本校は全体83%となった。3年生の割合は高いものの、1,2年生の割合が市の平均とほぼ同じであり、約2割の生徒がわかりにくさを感じている。</li> <li>生徒質問「授業で学習したことは、将来役に立つと思う」の平成25年度本市平均が77%であったことに対して、今年度の本校は全体で83%となった。1,3年生は高い数値を示しているが、2年生は低い結果となった。</li> <li>保護者の平均評価は昨年度の3.0から2.9に下降した。「1（そう思わない）」と「2（あまりそう思わない）」を合わせると20%を超える。今後も授業改善を進めるとともに、これまでに以上に学習の意義や必要性等を全教育活動を通して生徒たちに考える機会をつくっていく必要がある。</li> </ul>
	生徒	授業で学習したことは、将来役に立つと思う。	3.2	88.3%	68.7%	91.4%	82.6%	
	保護者	お子さんは、学校の指導を通して中学生として必要な学力を身につけてきていると思う。	2.9				72.9%	
	教師	学校は、生徒の学力の向上を目指して適切な指導を行い、成果をあげている。	3.1				90.9%	
学習評価	生徒	先生の評価によって、勉強についての自分の長所や課題がわかったり、やる気が出たりする。	3.1	75.3%	64.6%	90.1%	76.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価の三機能は「生徒の自己学習力の向上」「外部への説明責任」「教師による指導と評価の一体化」である。このうち、「自己学習力の向上」にあたる生徒の平均評価は昨年度の3.2から3.1へ、また「指導と評価の一体化」にあたる教員の平均評価は昨年度の3.2から3.1へ下降し、「説明責任」にあたる保護者の平均評価は昨年度の3.3から3.4へ上昇した。学習評価については、ここ数年微増減はあるものの、教員は指導について一定の手ごたえを感じ、生徒・保護者は一定の満足度を得ていると思われる。ただ、1,2年生の25~35%の生徒が「そう思わない」と回答しており、個々の生徒に対していぬい指導していく必要がある。</li> </ul>
	保護者	学校（先生）は、お子さんの学力や学習状況、努力の様子等について保護者に適切な説明を行っていると思う。	3.4				95.0%	
	教師	学校は、評価結果をもとに、指導をやり直したり、教材を工夫したりするなど、指導と評価の一体化に取り組み、成果をあげている。	3.1				95.7%	
キャリア教育	生徒	自分にはよいところがあると思う。	3.0	74.4%	66.3%	84.0%	74.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒質問「自分にはよいところがあると思う」の平成25年度本市平均が69%であったことから、1,3年生の自尊感情は一定、高いと言える。1,3年生も含め、特に2年生に対して今後も生徒の自信や誇りを高めていく指導の継続が必要である。</li> <li>生徒質問「自分の存在や思いが大切にされていると思う」の平成25年度本校全体が81%で、今年度も全体で81%となった。ここ数年、約80%の生徒が自分の存在価値を実感できるようになってきている。</li> <li>生徒質問「将来の夢や目標をもっている」の平成25年度本市平均が79%であったことに対して、今年度の本校は全体で67%となった。特に、1年生で65%、2年生で54%と低い数値となった。このことから、今後も未来を自らの力で切り拓いていこうとする意欲を高める指導や進路についての見通しをもたせる指導を計画的に推進することが重要である。</li> <li>保護者の平均評価は昨年度と変わりなく、評価項目全体の中で最も低い数値となった。「1（そう思わない）」と「2（あまりそう思わない）」を合わせると35%を超える。今後もキャリア教育にかかわって家庭で自らの力で切り拓いていこうとする意欲を高める指導や進路についての見通しをもたせる指導を計画的に推進することが重要である。</li> <li>保護者の平均評価は昨年度と変わりなく、評価項目全体の中で最も低い数値となった。「1（そう思わない）」と「2（あまりそう思わない）」を合わせると35%を超える。今後もキャリア教育にかかわって家庭で自らの力で切り拓いていこうとする意欲を高める指導や進路についての見通しをもたせる指導を計画的に推進することが重要である。</li> <li>今年度もキャリア教育を推進する上で基盤となる「あいさつ」「掃除」「時間」の指導に重点的に取り組み、教師も生徒も意識して生活できるようになってきている。教員の平均評価も昨年度と同様、高いものであった。</li> </ul>
	生徒	自分は、(まわりの人々から)自分の存在や思いが大切にされていると思う。	3.0	77.3%	76.5%	88.9%	81.0%	
	生徒	自分は、将来の夢や目標をもっている。	3.0	64.9%	53.7%	81.5%	66.7%	
	生徒	自分は、自分からあいさつしている。	3.2	83.3%	68.7%	88.9%	80.2%	
	生徒	自分は、ていねいに掃除や身の回りの整理・整頓をしている。	3.1	80.8%	67.5%	90.1%	79.3%	
	生徒	自分は、時間や期限を守り、授業を大切にしている。	3.1	79.5%	73.2%	90.1%	80.9%	
	保護者	お子さんは、学校の指導を通して将来の進路や今後の生き方について考えるようになってきていると思う。	2.8				63.8%	
人権・道徳・特別支援教育	教師	学校は、『育ちのプログラム』と関連させた重点・目標数値を学校づくりビジョンに定めて重点的に取り組み、成果をあげている。	3.1				95.7%	
	生徒	自分は、いじめや差別は絶対にいけないと思う。	3.7	100%	92.8%	97.5%	96.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒質問「いじめや差別は絶対にいけないと思う」の平成25年度本市平均が93%、本校全体が95%であったことに対して、今年度は全体で97%となった。ここ数年高い数値を示しており、本校生徒は前向きに人権のことを考えていると言える。</li> <li>生徒質問「学校へ行くのが楽しい」の平成25年度本校全体が88%であったことに対して、今年度の本校は全体で85%となった。1,3年生は高い数値を示しているが、2年生では低い結果となった。特に2年生は来年度最高学年となることから、学校行事や生徒会活動、部活動等において充実した活動ができるよう、取組を進めていくことが求められている。</li> <li>保護者の平均評価は2つの質問に対して、各3.1、3.2となっており、ここ数年、一定の満足度を得ている。</li> <li>教員の平均評価は昨年度同様3.3と高い数値を示している。これは、今年度も教師自身が自分たちの指導に対して一定の手ごたえや充実感、生徒の変容などを感じていることであると思われる。</li> </ul>
	生徒	自分は、学校へ行くのが楽しい。	3.3	90.9%	75.6%	90.1%	85.4%	
	保護者	お子さんは、学校の指導を通して中学生として必要な人権感覚や道徳性を身につけてきていると思う。	3.1				87.1%	
	保護者	学校では、障害のある生徒もいない生徒も、自分の力を発揮して学習や様々な活動に参加していると思う。	3.2				92.7%	
教師	学校は、生徒の人権感覚や道徳的心情、実践力を育てるために適切な指導を行い、成果をあげている。	3.3				95.7%		

内容	設問 ※ 設問に対する回答は、4（そう思う）、3（だいたいそう思う）、2（あまりそう思わない）、1（そう思わない）の4段階で評価	平均評価	4（そう思う）と3（だいたいそう思う）の評価の割合				考 察 (表中の「平成25年度本市平均」とは、平成25年度全国学力・学習状況調査の四日市市の中3の平均値)
			1年生	2年生	3年生	全体	
規律ある生活習慣 生徒指導	生徒 自分は、学校のルールやマナーを守って生活することを心がけている。	3.4	92.3%	83.1%	98.8%	91.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒、保護者、教員の平均評価はここ数年と比較しても大きな差はない。生徒指導面ではほとんどの生徒が落ち着いて学校生活、家庭生活を送っているが、十分な注意をしていないと学習面などへの影響も大きくなるので、今後も改善のための努力が継続的に必要である。</li> <li>・今年度もキャリア教育の関連で「あいさつ」「掃除」「時間」に重点的に取り組んできており、生徒指導の面でも一定の成果を得ていると考えられる。</li> </ul>
	保護者 お子さんは、学校の指導を通して中学生として必要な生活習慣やルール・マナーを身につけてきていると思う。	3.1				85.6%	
	教師 学校は、生徒の基本的な生活習慣の確立や規範意識・自立性の育成に向けて適切な指導を行い、成果をあげている。	3.0				82.6%	
学校行事・生徒会 活動・学級活動	生徒 自分は、班・学級活動や生徒会・委員会活動、体育祭や文化祭などの学校行事に積極的に取り組んでいる。	3.3	88.5%	71.1%	93.8%	84.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここ数年、生徒、保護者の各平均評価は安定して高い。教員の評価は昨年度の3.5から3.0に下降した。毎日の学級活動や生徒会・委員会活動も安定して活動ができてはいるものの、自主性の弱さ等を感じられることが要因していると思われる。体育祭や文化祭、修学旅行や職場体験学習、自然教室等は体験的な学習として極めて重要であり、ほとんどの生徒が意欲的に取り組んでいる。今後もよりよいものを目指して努力を継続する必要がある。</li> </ul>
	保護者 お子さんは、学級・生徒会活動や学校行事を通して友だちとの望ましい関係を深めたり、自主性、協力性、公共心などを身につけてきたりしていると思う。	3.2				89.1%	
	教師 学校は、学級・生徒会活動、学校行事等を通して仲間づくりや生徒の自主性、協力性、公共心などを育成するために適切な指導を行い、成果をあげている。	3.0				91.3%	
部活動	生徒 自分は、学校の部活動に積極的に参加している。	3.4	80.5%	85.5%	89.9%	85.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒・保護者ともに平均評価が高いが、数値はそれぞれ昨年度から0.1ポイントずつ下降した。また、教員の平均評価も3.0から2.7へと下降した。これは昨年度以上に教師が他の仕事に追われてなかなか部活動指導に十分な時間がかけられなかったり、手ごたえや充実感に物足りなさを感じたりしていることが要因していると考えられる。学校として仕事の精選や教員の仕事分担の見直し等が必要である。</li> </ul>
	保護者 お子さんは、学校の部活動を通して自主性や協力性、責任感や連帯感、ねばり強さなどを身につけてきていると思う。	3.2				84.8%	
	教師 学校は、部活動を通して自主性や協力性、責任感や連帯感、ねばり強さなどを育成するために適切な指導を行い、成果をあげている。	2.7				65.2%	
教育相談	生徒 学校には、自分の気持ちや思いを聞いてくれたり、悩みや心配ごとなどを相談できたりする先生やカウンセラーさんがいるので安心できる。	2.9	72.7%	59.5%	84.0%	72.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者及び教員の平均評価は、ともに3.3と一定、高い数値であるのに対して、生徒の平均評価は2.9となり、評価項目全体の中で最も低い数値となった。今後も相談機会の拡充や効果的な相談に向けた改善が必要である。昨年度を除くここ数年、2年生で低い評価が続いていたが、今年度も60%ととても低い評価となった。日頃から各学年とも担任等があいさつを含めて共感的姿勢による声かけや生徒との会話の機会を増やす努力をしてはいるものの、生徒の評価にはつながっていない。今後も相談機会の拡充や効果的な相談の在り方等の検討が必要である。</li> </ul>
	保護者 学校（先生）は、お子さんの思いや悩みなどを聞き取ったり、相談したりするしくみや雰囲気などを適切に整えていると思う。	3.3				91.7%	
	教師 学校は、生徒理解のために適切な教育相談を行い、成果をあげている。	3.3				100%	
危機管理・安全な生活	生徒 自分は、病気やけが、災害や事故、犯罪の被害などにあわないようにするため、日頃から健康や安全に気をつけて学校生活を送っている。	3.4	83.3%	80.5%	93.8%	85.9%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒、保護者の平均評価はともに3.4と高い数値となった。これは年3回実施する避難訓練や、生徒や保護者が日常的な病気やけが、事故発生時の対処等、適切に取り組まれていると感じられているからと考えられる。今後も日常的な危機管理をはじめ、防災教育を推進するとともに、日頃の指導・訓練の他、幼稚園との合同避難訓練や各地区の自主防災訓練への中学生の参加等、地域の一員としての自覚を促す指導を継続していく必要がある。</li> </ul>
	保護者 学校（先生）は、健康で安全・安心な学校づくりに努めていると思う。	3.4				95.9%	
	教師 学校は、生徒の健康で安全な生活のために、必要な組織や体制を整えるとともに適切な指導や訓練等を行い、成果をあげている。	3.2				91.3%	
地域・保護者等との連携	生徒 自分は、保々地区が好きだ。	3.4	85.9%	76.5%	95.1%	85.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここ数年、生徒、保護者、教員の各平均評価の値は共に安定して高い。学校ホームページを毎日のように更新したり、生徒の思いや考えを掲載した学年・学級通信を継続的に発行していたりすることが高評価につながったと考えられる。生徒の「自分は、保々地区が好きだ」という意識は、今後も大切にしたい。</li> </ul>
	保護者 通信・たより・ホームページ、電話連絡、家庭訪問、オープンデー、保護者懇談会などによって学校やお子さんの様子がわかりやすい。	3.4				95.9%	
	教師 学校は、保護者や地域に学校や子どもの様子を知らせるために適切な取り組みを行い、成果をあげている。	3.5				100%	